

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|---|--------|---------------|
| 施設名称 | 川崎市橋りサイクルコミュニティセンター | 評価対象年度 | 平成24年度 |
| 事業者名 | ・事業者名 テスコ株式会社 ・代表者名 小林 千尋 ・住所 東京都新宿区信濃町34番地 | 評価者 | 減量推進課長 |
| 指定期間 | 平成21年4月1日～平成26年3月31日 | 所管課 | 環境局生活環境部減量推進課 |

2. 事業実績

| | |
|-----------|--|
| 利用実績 | 平成24年度は平成23年度と比べると、再利用品展示・提供コーナーの利用者数は1,589名減の12,711人、施設見学者は307名増の920名であったが、総来館者数は1,342名減の14,842名であった。これは、施設で開催したリサイクルバザーと同時開催を予定していた近隣施設のイベントが中止になったことの影響があると考えられる。(橋りサイクルコミュニティセンター別紙資料参照) |
| 収支実績 | 指定管理業務に係る収入については、同日に開催を予定していた近隣のイベントの中止による来館者減少とそれに伴うPR機会の減少の影響が懸念されていたものの、概ね平成24年度予算どおりの約1,840万円であった。また、同様の理由から自主事業に関する収入は平成24年度予算と比較して13%少ない約160万円であったものの、常設フリーマーケットの拡充により平成23年度の自主事業収入実績と比較して、約40%の増加がみられた。指定管理業務に係る支出については、人件費等の縮減により、平成24年度予算に対し約2%少ない約1,900万円であった。このような経営努力の結果、指定管理業務及び自主事業に係る合計の収支は黒字を達成した。(橋りサイクルコミュニティセンター別紙資料参照) |
| サービス向上の取組 | 平成24年度は、利用者意見を踏まえ、常設フリーマーケットでの取り扱い品目を拡充するなど、サービス利用促進への取組を行った。また、平成21年度から引き続き、来館者が多い日曜日にリサイクル家具の抽選を行う等サービス向上の取組を行った。 |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|---------------------------------------|--|----|------|------|
| 利用者満足度 | 利用者満足度 | 利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか | 14 | 4 | 11.2 |
| | | 利用者ニーズ等を適切に分析しているか。 | | | |
| | | 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか) | | | |
| | 事業成果 | 事業実施における自己評価を行っているか。 | 8 | 4 | 6.4 |
| 当初の事業目的を達成することができたか | | | | | |
| (評価の理由) 利用者が多く見込まれる時期に利用者満足度調査を実施するなど意見・要望の収集方法は適切であった。来館者の意見・要望を参考に、利用者ニーズを分析し、平成24年度はミニ草履作り教室を開催するなど、利用者ニーズを事業に反映している。また、事業成果の測定をするため、社内監査としてのモニタリングや事業目標達成に関するモニタリングチェックシートを用いた自己評価を行い、業務の履行、サービスの質の評価を行っていることは評価できる。 | | | | | |
| 収支計画・実績 | 効率的・効果的な支出 | 計画に基づく適正な支出が行われているか | 11 | 4 | 8.8 |
| | | 支出に見合う事業が行われているか。 | | | |
| | | 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか | | | |
| | 収入の確保 | 計画通りの収入が得られているか | 3 | 3 | 1.8 |
| 適切な金銭管理・会計手続 | 指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。 | 6 | 3 | 3.6 | |
| | 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか | | | | |
| (評価の理由) 指定管理業務に係る収入については、同日に開催を予定していた近隣のイベントの中止による来館者減少とそれに伴うPR機会の減少の影響が懸念されていたものの、概ね平成24年度予算どおりの約1,840万円であった。また、同様の理由から自主事業に関する収入は平成24年度予算と比較して13%少ない約160万円であったものの、常設フリーマーケットの拡充により平成23年度の自主事業収入実績と比較して、約40%の増加がみられた。指定管理業務に係る支出については、人件費等の縮減により、平成24年度予算に対し約2%少ない約1,900万円であった。このような経営努力の結果、指定管理業務及び自主事業に係る合計の収支は黒字を達成しており、評価できる。 | | | | | |
| サービス向上及び業務改善 | 適切なサービスの提供 | 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか | 8 | 4 | 6.4 |
| | | サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか | | | |
| | | 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか | | | |
| | 業務改善によるサービス向上 | 業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。 | 6 | 4 | 4.8 |
| | | 業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか | | | |
| 利用者の意見・要望への対応 | 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか | 6 | 4 | 4.8 | |
| | 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか | | | | |
| (評価の理由) 利用者意見等により、施設のPRを課題と認識し、平成24年度は近隣区役所等への施設案内チラシの配架を行ったほか、施設PR用ののぼりを作成、施設前に設置するなど、利用者への情報提供の拡充、課題に対する業務改善の取組が行われていることは評価できる。また、利用者意見を踏まえ、常設フリーマーケットでの取り扱い品目を拡充するなど、サービス利用促進への取組が行われていることも同様に評価できる。そのほか、苦情対応をマニュアル化し再発防止に取組むなど、利用者への対応も引き続き適切に実施している。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|----|---|-----|
| 組織管理体制 | 適正な人員配置 | 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか | 6 | 3 | 3.6 |
| | 連絡・連携体制 | 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか | | | |
| | 再委託管理 | 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか | 2 | 3 | 1.2 |
| | 担当者のスキルアップ | 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか | | | |
| | 安全・安心への取組 | 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。 | 4 | 4 | 3.2 |
| | コンプライアンス | 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか | 4 | 3 | 2.4 |
| | 職員の労働条件・労働環境 | スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか | | | |
| | 環境負荷の軽減 | 環境に配慮した調達や業務実施が行われているか | 2 | 3 | 1.2 |
| | (評価の理由) 上級救命講習の認定資格取得者の配置や自衛消防隊の編成、防災訓練の実施を引き続き行っているほか、平成24年度からの取組として、大型のリサイクル家具の設置部前面に転倒防止板を設置するなど利用者が安全に施設を利用するための取組に努めている点は評価できる。また、月例の報告会議等の実施による連絡体制の確保、社内研修等の実施によるスキルアップやコンプライアンスの遵守に努めている。そのほか、グリーン購入を行うなど、環境に配慮した物品等の調達も行っている。 | | | | |
| 適正な業務実施 | 施設・設備の保守管理 | 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか | 20 | 3 | 12 |
| | 管理記録の整備・保管 | 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。 | | | |
| | 清掃業務 | 施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか | | | |
| | 警備業務 | 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか | | | |
| | 植栽管理 | 植栽等の維持管理を適切に実施しているか。 | | | |
| | 備品管理 | 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか | | | |
| (評価の理由) 施設の保守管理や管理記録の整備保管を適切に行った。また、毎日行う日常清掃や定期清掃などにより、館内全ての居室や共用部の清掃業務を行ない、清潔さを保持しているほか、備品台帳の作成や棚卸しの実施等のほか、適切な警備業務や植栽管理が行われている。 | | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|------|-------|---|
| 評価点合計 | 71.4 | 評価ランク | C |
|-------|------|-------|---|

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理業務に係る収入については、同日に開催を予定していた近隣のイベントの中止による来館者減少とそれに伴うPR機会の減少の影響が懸念されていたものの、概ね平成24年度予算どおりの約1,840万円であった。また、同様の理由から自主事業に関する収入は平成24年度予算と比較して13%少ない約160万円であったものの、常設フリーマーケットの拡充により平成23年度の自主事業収入実績と比較して、約40%の増加がみられた。指定管理業務に係る支出については、人件費等の縮減により、平成24年度予算に対し約2%少ない約1,900万円であった。平成24年度は近隣区役所等への施設案内チラシの配架を行ったほか、施設PR用ののぼりを作成、施設前に設置するなど、利用者への情報提供の拡充、課題に対する業務改善の取組が行われていることは評価できる。また、利用者意見を踏まえ、常設フリーマーケットでの取り扱い品目を拡充するなど、サービス利用促進への取組が行われていることも同様に評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

リサイクル家具類の展示・提供や廃食用油を使用した石鹸づくり、古布のリサイクルなどリサイクルの実践や様々な教室の開催や情報提供などを通して、リサイクルへの支援や環境学習を実施しており施設の設置目的に即した運営が行われていると言える。平成24年度に新規実施したミニ草履作り教室や常設フリーマーケットの取扱品目の拡充など、多くの市民が利用できるサービスの提供と適正な収支を確保するための方策について検討していくこと。また、平成24年度に拡充した施設のPRについても引き続き実施して欲しい。

橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料

橘リサイクルコミュニティセンター利用者実績

単位:人

| | H24 年度 | H23 年度 | 増減 | H22 年度 (参考) |
|---------------|--------|--------|--------|----------------|
| 再利用品展示・提供コーナー | 12,711 | 14,300 | △1,589 | 15,119 |
| 学習室 | 195 | 239 | △44 | 65 |
| 実践コーナー | 240 | 259 | △19 | 245 |
| 会議室 | 776 | 773 | 3 | 985 |
| 施設見学等 | 920 | 613 | 307 | 1,438 |
| 合計 | 14,842 | 16,184 | △1,342 | 17,852 |

| | H24 年度 | H23 年度 | 増減 | H22 年度 (参考) | |
|----------|----------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 家具類等出展数 | 480 | 480 | 0 | 480 | |
| 家具類入場者数 | 12,711 | 14,300 | △1,589 | 15,119 | |
| 家具類応募者総数 | 4,130 | 3,973 | 157 | 6,843 | |
| 内訳 | 家具類応募者数(来館) | 3,543 | 5,384 | △1,841 | 5,384 |
| | 家具類応募者数 (インターネット) | 587 | 275 | 312 | 275 |
| 当選平均倍率 | 8.6 | 11.0 | △2.4 | 14.3 | |

※当選平均倍率とは、家具類応募者総数を家具類等出展数で除した数値です。

| | H24 年度 | H23 年度 | 増減 | H22 年度 (参考) |
|------------|--------|--------|--------|----------------|
| 古布類持込量(kg) | 9,646 | 10,876 | △1,230 | 10,136.6 |
| 廃食用油持込量(L) | 289 | 315 | △26 | 395.7 |

橘リサイクルコミュニティセンター収支決算

単位:円

| | | H24 年度予算 | H24 年度決算 | H23 年度決算 | 増減額 | 増減率 (%) | H22 年度決算 (参考) |
|------|---------|------------|------------|------------|---------|------------|------------------|
| 収入 | ①事業活動収入 | 18,497,150 | 18,372,822 | 18,312,126 | 60,696 | 0.3% | 18,241,168 |
| | 指定管理料収入 | 18,055,750 | 18,055,750 | 17,939,877 | 115,873 | 0.6% | 17,858,000 |
| | 利用料金収入 | 31,000 | 39,600 | 31,900 | 7,700 | 24.1% | 19,300 |
| | その他収入 | 410,400 | 277,472 | 340,349 | △62,877 | △18.4% | 363,868 |
| | ②自主事業収入 | 1,860,000 | 1,618,235 | 1,158,030 | 460,205 | 39.7% | 1,196,630 |
| | 合計 ①+② | 20,357,150 | 19,991,057 | 19,470,156 | 520,901 | 2.7% | 19,437,798 |
| 支出 | ③事業活動支出 | 19,333,000 | 19,019,383 | 18,668,256 | 351,127 | 1.8% | 18,604,378 |
| | ④自主事業支出 | 1,027,000 | 969,976 | 786,645 | 183,331 | 23.3% | 822,315 |
| | 合計 ③+④ | 20,360,000 | 19,989,359 | 19,454,901 | 534,458 | 2.7% | 19,426,693 |
| 収支差額 | | △2,850 | 1,698 | 15,255 | △13,557 | △88.8% | 11,105 |